



## STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース

### —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

**取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！**

### 東浦和駅頭宣伝・署名行動 3事業所・1団体から13名が参加！

「介護に働くみなさんの待遇が少しでも良くなるよう署名します。がんばってください」(埼玉)



10月14日(水)午後4時30分から1時間、東浦和駅頭にて、「介護ウェーブ駅頭宣伝・署名行動」を行ないました。この宣伝行動は、「声の出る宣伝を」と介護ウェーブ推進事務局の提起によりとりくまれたものです。急なよびかけでしたが、老健みぬま、ケアセンターきょうどう、本部、労組から13名が参加。ご協力いただいた署名は40筆となりました。宣伝では本部下河さんがマイクを握り、自ら作成した原稿とともに訴えを続けました。署名に協力いただいた方からは「介護のことには興味あります。明日は我が身です。制度は良くしないと。」と家族全員分を署名した母・娘の2人連れの方や「介護に働くみなさんの待遇が少しでも良くなるよう署名します。がんばってください。」などこころ強く、励まされる声も寄せられました。



### 埼玉民医連「3ウェーブ行動」東浦和駅頭宣伝に50名越の参加で180筆！

10月21日(水)埼玉民医連3ウェーブ行動・東浦和駅頭宣伝行動が50名を超す職員の参加でおこなわれました。駅頭では、宣伝、署名行動の他、医師による「医療相談コーナー」も設置され、夕刻にも関わらず多くの相談者で賑わうものとなりました。宣伝では、増田副会長をはじめ、看護師、介護福祉士など多くの職員がマイクを握り、医師不足や看護師不足、介護職員の実情を訴え、政府・厚生労働省に打開を求めました。「医療・社会保障予算を大幅にふやし、医療・社会保障制度の再生をめざす請願署名」もとりくまれ、1時間という短時間にもかかわらず、180筆を超えるご協力をいただきました。



### 独自の3ウェーブ行動第3弾！50筆の署名（熊谷生協病院）



熊谷生協病院の3ウェーブ行動が定例日となっている、10月16日(金)に熊谷駅頭で行われました。行動には看護師3名、介護職3名の6名が参加。介護をとりまく切実な実態を訴えました。

署名に協力いただいた方からは、「よくテレビで見るが介護職の給料をもっと上げるべき。(30代男性)」「私も将来、介護の職に就きたい。ぜひ良くなってほしい。(10代女性)」「私もいつ倒れるか分からない。早く対策をとってもらいたい。(50代女性)」などの声が寄せられ、協力いただいた署名は50筆となりました。

## 神川コスモスマつりで130筆！（生協介護センターこだま）

生協介護センターこだまでは、10月18日の日曜日に開催された「神川コスモスマつり」に児玉支部組合員さんとともに参加。健康チェックと署名集めに大奮闘です。所長の竹石さんが健康チェックと健康相談を担当。ケアマネジャーとヘルパーで署名への協力を訴えました。初めは、「50筆集まれば……」と控えめ？だったものが時間が経つにつれ、訴えに熱が入るものとなり、最終的には130筆を超える協力をいただきました。コスモスマつりには、県内外からの参加があり、署名に協力いただいた方も南は神奈川県から、北は新潟県におよぶものとなっています。ここでも「こだま」の持ち味である、『担当した職員それが持ち場で充分力を発揮する』ものとなりました。

## 「ダメもと」でお願いしてみたら（ケアセンターかもがわ）

ケアセンターかもがわの隣のテナントを使用していたP化粧品。かもがわの職員がP化粧品の愛用者ということもあり、少し離れたところへ移転した現在も交流が続いています。そこから驚きの成果です。P社職員がかもがわを訪れた際、「これもお願ひします。」と手渡した署名用紙。少しためらしながら「そちらのお客様にも声かけしていただけますか。」とまさにダメもとでお願いしました。すると後日、「少ないですが……」と署名用紙を届けていただきました。「お客様にお願いすると多くの方が協力していただきました。」と。驚きの成果です。ケアセンターかもがわでは、ケアマネジャーが中心となって実績報告や営業などで事業所を訪れる方はもちろん、近隣事業所への訪問、声かけも進んでいます。ためらわずすべての人に声かけ！が大きな成果に繋がっています。

（さいたま介護ウェーブ2009推進ニュースNo.14～16 2009.10.10～2009.10.30より）

## 市駅前・坊ちゃん広場で街頭署名活動に25名が参加！（愛媛）

10月25日（日）えひめメディコープ介護実践交流会のあと、愛媛医療生協の介護職員と合流して街頭署名活動を行いました。大々的に街頭署名活動したのは初めてでしたが、黄色のヤッケの集団は、町行く人々にはいろんな意味で目を引きました。なんと1時間で148筆の署名が集まりました。参加者から、「署名をしてくれたTさんは、『足を骨折しヘルパーさんに来てもらいましたが十分なことはしてもらえませんでした。十分な介護が保障してもらえるよう制度を改善して欲しい』と話をされました。『日本の将来が危ない』の一言を添えたことで若い人にも署名をもらうことができ、38名の方にもらいました。知る人ぞ知る介護保険でしたが、元気な方にはあまり知られていなく、たくさん的人が興味なしの感じあり、淋しかったです」「楽しい署名活動でした。やっぱり多人数でやらないと元気が出ません」「特養の待ちの多さ、利用料の負担の重さを訴えると立ち止まって署名をしてくれる人もたくさんいました」などの感想が寄せられました。

（2009年10月30日 愛媛県民医連 介護ウェーブ2009実行委員会より）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp